

話題がいっぱい /  
なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、  
まちの話題をお届けします。  
ここで“なかゆくい”しませんか。  
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」  
にも市内のできごとを紹介しています。



### 8/8 平和を願い、今もつながる交流

宮崎県日向市と本市は、戦時中、浦添国民学校の児童・引率者が、日向市に学童疎開したことが縁となり、現在でも交流が続いています。今年も、日向市から派遣された中学生平和交流団が浦添市を訪れ、本市の中学生平和交流団と平和交流会を行いました。

両市の紹介などを行った後、疎開体験者である當間榮安さん(93歳・浦添在)の講話を聴いた両市の中学生は、世界の平和を実現するために「戦跡地へ行き、戦争の悲惨さ・残酷さを実感し、戦争体験者から受け継いだ平和の意味や大切さを、SNSを使って世界へ発信したい」と話し合いました。最後は、エイサーとひょっとこ踊りの伝統芸能をお互いに披露し、交流を深めました。



### 7/27 “てだColab”でワクワク職業体験!

市内の小学生親子を対象にした職業体験イベント「てだColab」が、市役所9階で行われました。イベントには、琉球コロンや沖縄タイムス社など、11の企業・団体が参加しました。

消防本部による体験では「障害物を乗り越えて救出しよう!」をテーマに、はしご登はんや綱渡りなどの救助活動が行われ、参加した伊佐優人さん(小1)は「綱渡りが一番難しかったけど、とても楽しかった」と笑顔で話してくれました。

また、沖縄出身のYouTuberハイサイ探偵団による体験会は特に人気があり、子どもたちがメンバーと一緒に魚を捌くという企画で、動画の撮影・編集を行いました。参加した子どもたちからは「思っていたより大変な作業だったけど、良い経験になった」「YouTuberさんはすごいと思った」などの声が上がりました。



### 8/15 双子のライバル。市長を表敬訪問

7月20・21日に東京体育館で行われた、カラテドリームフェスティバル2024国際大会の組手部門幼年中男女混合に出場し、優勝と準優勝に輝いた双子の伊禮琉人さん(4歳)と雅さん(4歳)が市長を表敬訪問しました。

初出場の今大会では琉人さんが優勝、雅さんが準優勝の成績を収めました。2人は、昨年12月に「第58回てだこ市民賞」を受賞した伊禮明愛さん(小3)の姉弟で、表敬には明愛さんも同席し「この2人は強い」と話しました。

また、「空手の何が楽しいですか?」という市長の質問に「戦うことが楽しい」「(戦うことは)こわくない」と答え、最後に3人で空手の型も披露してくれました。



### 8/15 暑い夏を少しでも快適に♪

例年以上に暑さが厳しいなか、神森中学校では、生徒たちから生徒総会で大型扇風機購入の要望がありました。生徒会と先生たちで検討した結果、神森中学校第7期生還暦同期会の皆さまからいただいた寄付を活用して4台の扇風機を購入しました。大型扇風機は集会や部活動の際に体育館で使用されており、生徒たちからは「とても暑いけど、少し涼しくなった」「休憩時にリフレッシュできる」「購入の要望が通って嬉しかった」など、汗を流しながら嬉しそうに話していました。生徒たちの要望が形になり、神森中学校の指針である『みんな(生徒、先生、保護者、地域の方々)で創るみんなの神森中学校』を表した出来事になりました。



### 8/2 市民の健康を支える協定を締結

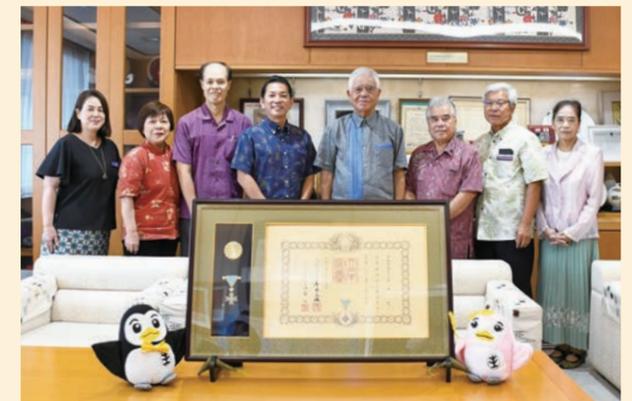
市と明治安田生命保険相互会社が、市民の健康増進や市民サービスの向上を図ることを目的に「健康増進に関する連携協定」を締結しました。連携事項には、「健康増進や介護・認知症の市政情報発信に関すること」、「高齢者の健康づくりに関すること」などが明記されており、松本市長は「市民の皆さまに喜ばれる締結となるよう、協力して取り組みを進める第一歩となることを期待している」と述べました。明治安田生命保険相互会社の八矢沖縄支社長は「これまでに、他市町村で野菜の摂取量がわかるベジチェックなどを実施し、健康を意識してもらうイベントを開催した。浦添市でも、連携協定の具体的な取り組みを実施していきたい」と意欲を述べました。



### 7/22 自治会長退任者へ感謝を込めて

長年、自治会長として地域のために尽力し、今年退任した6人へ感謝状が贈呈されました。

港川自治会長を22年務めた銘剣全郎さんは「地域や自治会長の皆さんの支えのおかげで、22年間会長を続けることができました。会長は退任しましたが、これからは活動の中で自治会を支えていきたい」とあいさつを述べました。また、松本市長は「コロナ禍においては特に、自治会長の皆さまには大変ご尽力いただきました。今後もそれぞれの場所での活躍を期待しております」と感謝の意を表しました。



### 7/17 立ち直りに寄り添う活動に貢献

中部南保護区浦添支部の保護司として24年間活動し、瑞宝双光章を受章した森田茂さん(76歳)が市役所を訪れ、松本市長に受賞の報告をしました。瑞宝双光章とは、長年にわたり公務等に従事し、成績を挙げた人に贈られる賞です。森田さんは「これまで未成年を含め、約40人の保護観察対象者に保護司として関わってきた。彼らの更生や社会復帰に少しでもお力添えをできればと思い、活動してきた」とこれまでの活動を振り返りました。松本市長は「社会復帰しようとする人に丁寧寄り添う森田さんの優しい人柄が受賞につながった。これからもほかの保護司の目標として頑張っていたきたい」と森田さんに賞賛の言葉を送りました。